

注目ポイント！

日本で初めての世界遺産登録地として、飛躍的に成長した観光産業。  
エコツーリズムを行政・民間が一体となり環境に優しい観光を推進。



安定的に約30万人の入り込み客数を維持！



縄文杉

コラム

屋久島観光協会会長に就任して以降、屋久島が観光産業の成長だけではなく子々孫々まで人類のかけがえのない資産として共有する関係を築くための努力を重ねている。今後は更なる観光推進と環境保全、伝統文化などの発展への取組みが期待される。



屋久島観光協会長 柴 鐵生氏

これまでの経緯

- 平成 5年(1993) 「屋久島」が世界自然遺産に登録。
- 平成11年(1999) 「屋久町観光協会」と「上屋久町観光協会」が合併し「屋久島観光協会」になる。
- 平成13年(2001) 屋久島の登山道を整備し山中の崩壊や事故の防止に努める。
- 平成16年(2004) ラムサール条約に「永田いなか浜」が登録。  
エコツーリズム推進協議会が設立される。
- 平成18年(2006) 上屋久町一湊海水浴場の水質が鹿児島県一位になる。  
屋久島山岳トイレにおいて「人力によるし尿の試験搬出」を実施。

## 主な取り組み

### エコツーリズム～屋久島ガイドの登録認定制度～

平成16年に屋久島における固有の自然や文化にふれあう機会の提供、地域資源の保全と適正な管理、地域振興への貢献を同時に実現することを目的にエコツーリズム推進協議会が設立された。島内在住の120名近い屋久島ガイドが、協議会の厳しい登録基準を満たしており、今後地域内外の人に屋久島の素晴らしさを伝える為の牽引役として活躍が期待されている。



登山客を案内するガイド



し尿を背負っての搬出

### 環境保全

屋久島山岳地域利用における課題の一つである登山者のし尿問題について屋久島観光協会が中心となり事務局を立ち上げ積極的に検討を行っており、平成18年5月30日には屋久島山岳トイレにおいて「人力によるし尿の試験搬出」を実施した。

### ボランティア清掃

屋久島観光協会が中心となり、屋久島の山岳部や海岸部の清掃などの環境保全に取り組んでいる。

毎年のイベント行事になっている「屋久島海祭り」では500人近くの清掃ボランティアの参加があった。



ボランティア清掃

### 問い合わせ先

屋久島観光協会

Tel : 0997 - 49 - 4010 Fax : 0997 - 49 - 4011

E-mail : yakukan@coral.ocn.ne.jp